急性大動脈解離（保存療法）の患者さまへ

患者氏名：　　様　　受持医：　　受持看護師：

日時	／	／	／	／	／	／	／	／	／
経過	入院	2病日	3病日	4病日	5～6病日	7病日	8～12病日	13病日	14～16病日
達成目標	◆SpO2が95%以上である ◆循環動態が安定している（収縮期血圧が90mmHg以上） ◆疼痛がコントロールできる ◆安静が保てる ◆退院基準を理解し、同意する	◆SpO2が95%以上である ◆循環動態が安定している（収縮期血圧が90mmHg以上） ◆胸背部症状がない ◆安静が保てる		◆循環動態が安定している（収縮期血圧が90mmHg以上） ◆胸背部症状がない ◆安静が保てる		◆循環動態が安定している（収縮期血圧が90mmHg以上） ◆胸背部症状がない ◆トイレ・洗面所まで歩行できる	◆循環動態が安定している（収縮期血圧が90mmHg以上）	◆循環動態が安定している（収縮期血圧が90mmHg以上） ◆内服の必要性が理解できる	【退院基準】 ◆循環動態が安定している(収縮期血圧が90mmHg以上） ◆院内歩行ができる ◆退院後の治療や注意事項が理解できる ◆食事療法について理解できる
治療・薬剤（点滴・内服）処置リハビリ	点滴を行います								
検査	必要に応じて血液検査・エックス線・CTの撮影があります								
活動・安静度	絶対安静となります	ギャッジアップ45度まで起こせます	ギャッジアップ90度まで起こせます	ベッド上フリーです	ベッドサイドでポータブルトイレが使用できます	CT結果の次第で病棟内歩行をできます			CTの結果次第で院内歩行ができます
食事	絶食となります 飲水はできます		食事が開始します 必要に応じて治療食となります						
清潔	看護師が身体を拭きます								シャワーができます
排泄	必要に応じて尿の管が入っています				尿の管を抜きます ポータブルトイレを使用できます	病棟のトイレを使用できます			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	受持医が入院治療計画について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 薬剤師が薬について説明いたします 血圧コントロールが重要であるため、こまめに測定を行います 痛みがあるときは早めに教えてください 入院に関するご心配がありましたらお早めに総合受付⑥番窓口にご相談ください								看護師が退院後の生活の注意点について説明いたします

注1　入院期間については現時点で予想される期間です

国立病院機構熊本医療センター　心臓血管外科　2012年12月作成